

## 第24-4回 心理学・教育学委員会 心の先端研究と心理学専門教育分科会 議事録

日時： 2019年10月16日 17:00~18:30

場所： 日本学術会議 5-A 会議室（東京都港区六本木7丁目2-3-4）

出席者： 西田眞也、蒲池みゆき、明和政子、大平英樹、亀田達也、川畑秀明、河邊隆寛、坂上雅道、坂田省吾、實藤和佳子、積山薫、高瀬堅吉(Net 参加)、長谷川寿一、松井三枝、松沢哲郎、村上郁也、渡辺茂（17名）

### <議事概要>

#### 1. 前回議事録の確認

前回議事録の確認をし、了承された。

#### 2. これまでの議論取りまとめについて

- ・これまでの分科会での議論経過とそこからのマスタープラン提案に関する経緯が委員長より説明された。
- ・分科会メンバーを中心とした提案を行った結果が共有された上で、今後の分科会活動の指針をまとめ、情報発信する方法について議論を行った。
- ・心理学の教育および将来分野として取り組むべき課題に関し、各委員からの意見を聴取した。

#### 3. 今後の分科会の活動、内容について

下記のような意見がまとめられ、進め方について了承された。

- ・日本の心理学がいま取り組むべきイノベティブな研究テーマを議論する必要がある。
- ・次世代を担う若手研究者育成のための教育基盤や研究を促進させるための施策について、分科会から具体的提案をすべきではないか。
- ・先端的な心の研究に関するシンポジウム企画などを積極的に進め、研究者コミュニティの育成や活性化を継続的に図るべきである。

以上